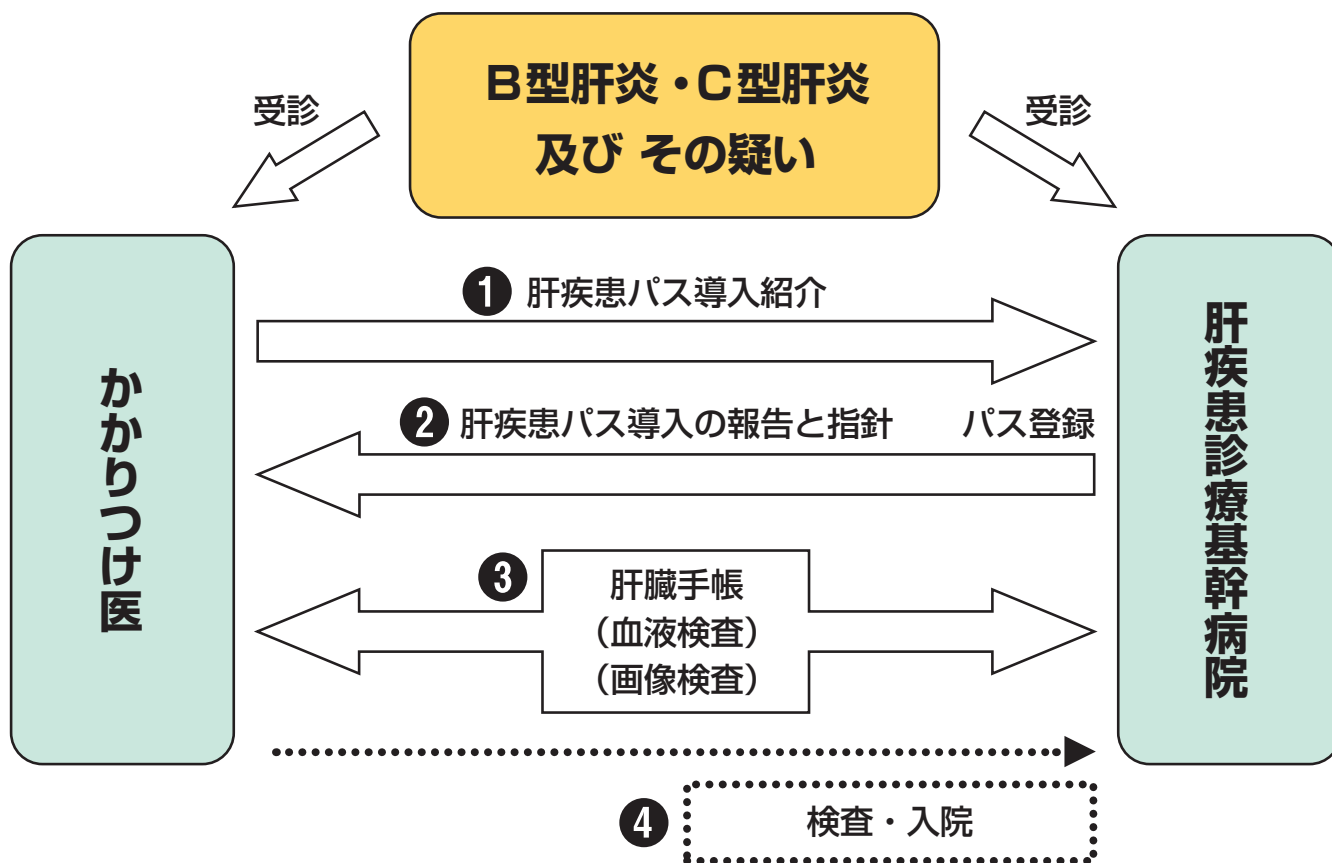


# 慢性肝疾患(B型肝炎・C型肝炎)パスの地域連携システム



## ① かかりつけ医から基幹病院へHBs抗原(+)、HCV抗体(+)の患者さんの紹介:

パスの適応基準がありそうならば、まずは肝疾患基幹病院へ紹介して下さい。(様式①)  
非代償性肝硬変や肝がんは、本パスの適応ではありません。

## ② 肝疾患基幹病院から、患者さんへの説明、及び、かかりつけ医への報告と紹介:

肝疾患パスに適合する場合、患者さんに説明し、かかりつけ医に導入を報告します(様式②)。  
患者さんに肝疾患パスに関して、説明同意書(様式③)、参考資料、肝臓療養手帳(様式④)、検査予定の一覧(様式⑤)、などを渡します(肝疾患パスの患者登録は基幹病院で行います)。  
かかりつけ医に、患者さんの管理方針を報告し、投薬・注射をお願いする場合があります。  
適応外の例は、その旨を適時別紙にて紹介医へ報告し、必要な検査や治療を進めます。  
また逆に、基幹病院から、かかりつけ医にパス導入(様式②)をお願いする場合があります。  
参考資料は、基幹病院にあらかじめ配布してあります(高槻医師会に請求にて補充可能)。

## ③ 肝臓手帳による検査結果の情報共有:

肝臓療養手帳により、患者さんの病態に応じて、予定された定期的な血液検査(肝機能や腫瘍マーカー※など)や、画像検査(腹部USやCT等)を施行し、かかりつけ医と基幹病院との間で、患者さんの診療情報を共有します。基本的には、血液検査はかかりつけ医が、画像検査は基幹病院が、担当します。画像検査の結果は、基幹病院にて、患者さんに説明(診療)を行います。  
検査結果は、必ず、患者・かかりつけ医・基幹病院で情報共有します。  
(※B型肝炎・C型肝炎では、月一回のAFP/PIVKA-II測定が保険認可されています。)

## ④ 検査結果に問題が生じたり、経過中に増悪した場合:

基幹病院に受診して頂き、必要に応じて検査や治療など、適時対応します。

高槻市医師会地域連携クリティカルパス  
「慢性肝疾患(B型肝炎・C型肝炎)」診療情報提供書

年 月 日

紹介先 \_\_\_\_\_ 病院 \_\_\_\_\_ 科  
\_\_\_\_\_  
(担当医)先生 御侍史

紹介元 施設名 \_\_\_\_\_  
TEL( \_\_\_\_\_ )

担当医氏名 \_\_\_\_\_ (印)

患者氏名

\_\_\_\_\_ 様 (男・女)  
生年月日：明治・大正・昭和・平成 年 月 日 (才)

診断名 B型肝炎 及び その疑い C型肝炎 及び その疑い

高槻市医師会地域連携クリティカルパス「慢性肝疾患(B型肝炎・C型肝炎)」による、  
貴院との医療連携での経過観察を、お願い申し上げます。

- 当院での検査データを持参して頂きます。  
薬剤情報(お薬手帳 など)を持参して頂きます。

付記(合併症、注意事項、ご意見 など)。

合併症 有( \_\_\_\_\_ ) 無

注意事項 有( \_\_\_\_\_ ) 無

高槻市医師会地域連携クリティカルパス  
慢性肝疾患(B型肝炎・C型肝炎)診療情報提供書

受入

紹介先 \_\_\_\_\_ 医院・診療所・クリニック \_\_\_\_\_ 年 月 日

(担当医)先生 御侍史

紹介元 施設名 \_\_\_\_\_ 病院

TEL( \_\_\_\_\_ )

担当医氏名 \_\_\_\_\_ (印)

患者氏名 \_\_\_\_\_ 様 (男・女)

生年月日：明治・大正・昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( \_\_\_\_\_ 才)

地域連携パス「慢性肝疾患(B型肝炎・C型肝炎)」説明書に、患者署名を頂きました。

上記患者様を、地域連携クリティカルパスの適応例として登録致しました。

(※不適応例の場合は、別紙にて今後の方針を報告)

診断名

B型肝炎

HBe抗原陽性 HBe抗体陽性 HBV-DNA量( \_\_\_\_\_ Log copies/mL)

C型肝炎

HCV遺伝子型(1b 1b以外) HCV-RNA量( \_\_\_\_\_ Log IU/mL)

肝機能正常のウイルス・キャリア 慢性肝炎 肝硬変(代償性)

患者様には①高槻肝臓病療養手帳、②定期的検査一覧表、③肝臓病の資料冊子  
をお渡ししました。今後①②により、定期的な採血・画像検査にて経過観察とします。

本例における経過観察の検査計画は、以下とします。(手帳・検査計画表もご参照下さい)

( \_\_\_\_\_ )ヵ月毎の血液検査(肝機能検査 及び AFPとPIVKA-II)

(3・4・6)ヵ月毎の超音波検査 及び (6・12)ヵ月毎の腹部造影(CT/MRI)

治療方針

現在特に投薬治療の処方なく、定期的な経過観察のみとします。

可能であれば、投薬・注射など(肝機能の状態により適宜増減)、お願い申し上げます。  
(※ 参考までに治療方法を以下のように提案させていただきます)。

ウルソデオキシコール酸(100mg) 6T 分3食後 内服

グリチルリチン製剤(60ml(週3回)・80ml(週2回)・ \_\_\_\_\_ )

その他 B型肝炎に対して、核酸アナログ製剤の内服 あり なし

## 高槻市医師会地域連携クリティカルパス 「慢性肝疾患(B型肝炎・C型肝炎)」 説明書

患者氏名 \_\_\_\_\_ 様

病 名 \_\_\_\_\_

### 患者様(ご家族様)へ

肝臓は、沈黙の臓器とよばれ、自覚症状がほとんどありません。しかし、放置しておくと、本人が気付かないうちに病気が進む場合があります、肝硬変、さらには肝臓がんへと進展する例もあります。慢性肝疾患、特にB型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスに感染している場合は、そのような危険性が高いとされています。

そこで、高槻市医師会では、この地域の慢性肝疾患(特にB型およびC型肝炎)の患者様に対して、肝疾患連携基幹病院とかかりつけ医との診療ネットワークを提供しています。

その目的は、この地域における慢性肝疾患(特にB型およびC型肝炎)の診療に於いて、その管理や治療方針を統一し標準化することにより、患者様の病気の進展や肝がん発生の予防、さらには肝臓がんの早期発見を達成することにあります。

この連携基幹病院とかかりつけ医による医療連携システムは、一貫した診療方針のもとで、患者様一人一人の適切な管理計画書(クリティカルパス)を作成し、基幹病院とかかりつけ医が協力し連絡をとりあって、慢性肝疾患(特にB型肝炎およびC型肝炎)に対し、定期的な診療を行うものです。具体的には、普段はかかりつけ医に通院し、各自の状態に応じて連携基幹病院を受診して頂き、定期的に血液および画像検査(腹部超音波や腹部造影CT/MRIなど)を受けて、情報交換しながら経過観察を行います。

この地域医療連携システムをご理解頂き、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

年 月 日  
\_\_\_\_\_

医療機関名 \_\_\_\_\_

患者氏名 \_\_\_\_\_ 様

※患者自身が記入困難な場合は、  
家族(同意者)の記入のみでも可とする。

説明医師 \_\_\_\_\_



## 「三島圏域地域連携クリティカルパス(慢性肝疾患)」月次報告

平成25年 月分の地域連携クリティカルパスの集計結果を以下の通りご報告いたします。

## 【慢性肝疾患(B型・C型肝炎)】 H25年 月分

## 【導入(貴病院から診療所へ、パス導入目的に紹介した例)】

疾患名	項目	パス導入総数	パス導入数(B型)	パス導入数(C型)	逸脱数	
					肝がん	その他
慢性肝疾患(B型・C型)		例	例	例	例	

パス導入総数：1ヵ月に貴病院でパス導入したB型/C型患者総数。受入からの発生と貴病院からの発生の合計。

逸脱数：パスから逸脱した患者数(肝がんにての逸脱と、死亡含むその他の逸脱)

## 【受入(診療所から貴病院へ紹介あり、パス導入した例)】

パス受入数	B型肝炎	C型肝炎
	例	例

パス受入数：1ヶ月に診療所より貴病院へ紹介され、パス導入の適応となり診療所へ紹介された患者数。

平成 年 月 日 高槻市医師会